

## 平成29年度 4年生以上生活アンケートの考察

(各項目の左の数字はグラフの項目に対応しています。)

- 1 82%の児童が学校に行くのを楽しみにしています。他の18%の児童も楽しく登校できるように環境を整えていきます。
- 2 昨年度より3ポイントダウンしてしまいましたが、88%の児童がクラスのみならず仲よく生活をしています。今後も、学級の中で一人一人のよさが認められるよう学級づくりに努めます。
- 3 A・B評価が55%と、教師への相談がやや少ない状況です。児童との対話を増やし、より話しやすい担任であるよう心がけていきます。
- 4 昨年度より1ポイントアップし、80%の児童が、A・B評価でした。引き続き、本時の目標とねらいをきちんと掲げ、さらにわかりやすい授業をすすめるよう、努力していきます。
- 5 朝のスピーチや友だちの話を聞いたりするのが楽しいと答えている児童が、昨年度より3ポイントダウンし、64%と、やや低い評価となっています。朝のふれあいスピーチ等、テーマを決めて取り組み、日常の出来事・社会に目を向けた話題から話ができる子を育てていきます。
- 6 A・B評価が60%と、昨年度より9ポイントもダウンしてしまいました。外で遊べる子は心も育っています。冬季体力づくりは、「ジョキング・短なわとび」に取り組んでいます。
- 7 秋の読書週間には、図書委員会が計画し、読書に取り組むイベントを実施しました。昼放課や授業中の図書館の利用も進んでいます。「家読」もご家庭で参加していただいています。
- 8 昨年度より2ポイントアップし、88%の児童が進んで自分の役割に取り組んでいます。どの委員会も、日常的な活動等、意欲的に取り組むことができています。
- 9 昨年度より5ポイントアップし、85%の児童が「あいさつ」が進んでできると答えています。生活委員会の活動として、また、学級毎でも、あいさつ運動を行っています。引き続き、あいさつに力を入れていきます。
- 10 南吉について調べたり、南吉に関わる史跡を見学したり、他学年に紹介したり等、それぞれの学年が南吉学習に取り組んでいます。今後も、南吉を教材にした学習をすすめながら、国語の力や豊かな心の育成に努めます。
- 11 A・B評価が、昨年度より1ポイントダウンし、71%という評価となりました。返事・言葉遣い等今後とも指導をすすめていきます。
- 12 70%の児童が家庭学習に頑張っており取り組んでいると答えています。様々な工夫をしながら、授業に備える態度を養っていきます。
- 13 92%の児童が朝食をきちんと食べています。1日の生活の第一歩は朝の食事から始まります。良好な生活を送ることができる環境が整っています。
- 14 午後10時前に寝る児童は、昨年度より10ポイントもダウンしてしまいました。子供の生活にとって必要な睡眠時間を確保できると心の安定や学習意欲向上が図れます。
- 15 家庭で1時間以上、ゲームやインターネットを行っている児童が、昨年度より2ポイント増え、60%となっています。ご家庭でゲーム等の使用について話し合い、家庭のルールを守るようにしていただけるとよいと思います。
- 16 65%の児童が家庭でお手伝いをしています。年齢に応じた家庭での役割を果たすことにより、生活能力が高まり、責任感も育ち、キャリア教育の基礎を養うことができます。
- 17 71%の児童が家庭で学校の話をしています。ご家庭で学校のできごとについて話することにより、子どもの表現力は高まり、保護者の方は困っていることの発見につながります。
- 18 62%の児童が地域の活動に参加しています。お祭り・スポーツクラブなど地域の活動に参加することにより、地域に根付いた「岩滑の子」が育ちます。
- 19 A・B評価が、70%となりました。さらにアップするよう、学校でも家庭でも後片付けの習慣をつけるようすすめていきたいと思います。